

2020年12月4日

各 位

当社水島製油所における新型コロナウイルス感染者の発生について

当社（社長：大田 勝幸）は、水島製油所（所長：孫 正利、岡山県倉敷市）に勤務する協力会社社員2名に、新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出たことを確認いたしました。

当該協力会社社員のうち1名は、11月30日（月）の帰宅後に症状を発しましたが、同日の勤務以降出勤しておりません。12月2日（水）にPCR検査を受け、12月3日（木）に陽性を確認いたしました。現在は、保健所の指示に従い、宿泊施設で療養しております。

もう1名は、上記感染者とともに近傍で業務を行っていたことから、保健所の見解として濃厚接触者と認定されたため、12月3日（木）にPCR検査を受け、12月4日（金）に陽性を確認しました。現在は、保健所の指示に従い、宿泊施設にて療養しております。

なお、保健所の見解として当該協力会社社員と同時に休憩所を利用していた7名が濃厚接触者と認定され、現在自宅待機としており、今後PCR検査を受ける予定となっております。

感染者の確認を受け、当該協力会社社員の行動範囲の消毒、除菌を実施いたしました。

同所では、今回の事実が判明する前から構内で働くすべての従業員および協力会社の皆様に感染予防策を実行し、可能な限り人と人との濃厚接触を抑制することにより安定供給を維持する体制をとっておりましたので、この度の感染者発生による生産体制への影響はありません。

引き続き、所轄保健所の指導の下、職場の濃厚接触者の調査・特定および健康観察を進めるなど、感染拡大防止に向け適切に対応いたします。

地域住民および関係者の皆様にご心配をおかけすることを心よりお詫び申し上げます。今後も当社は、従業員および取引先様の安全確保および安定的な操業継続に向けた感染拡大防止対策を迅速に実施してまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上